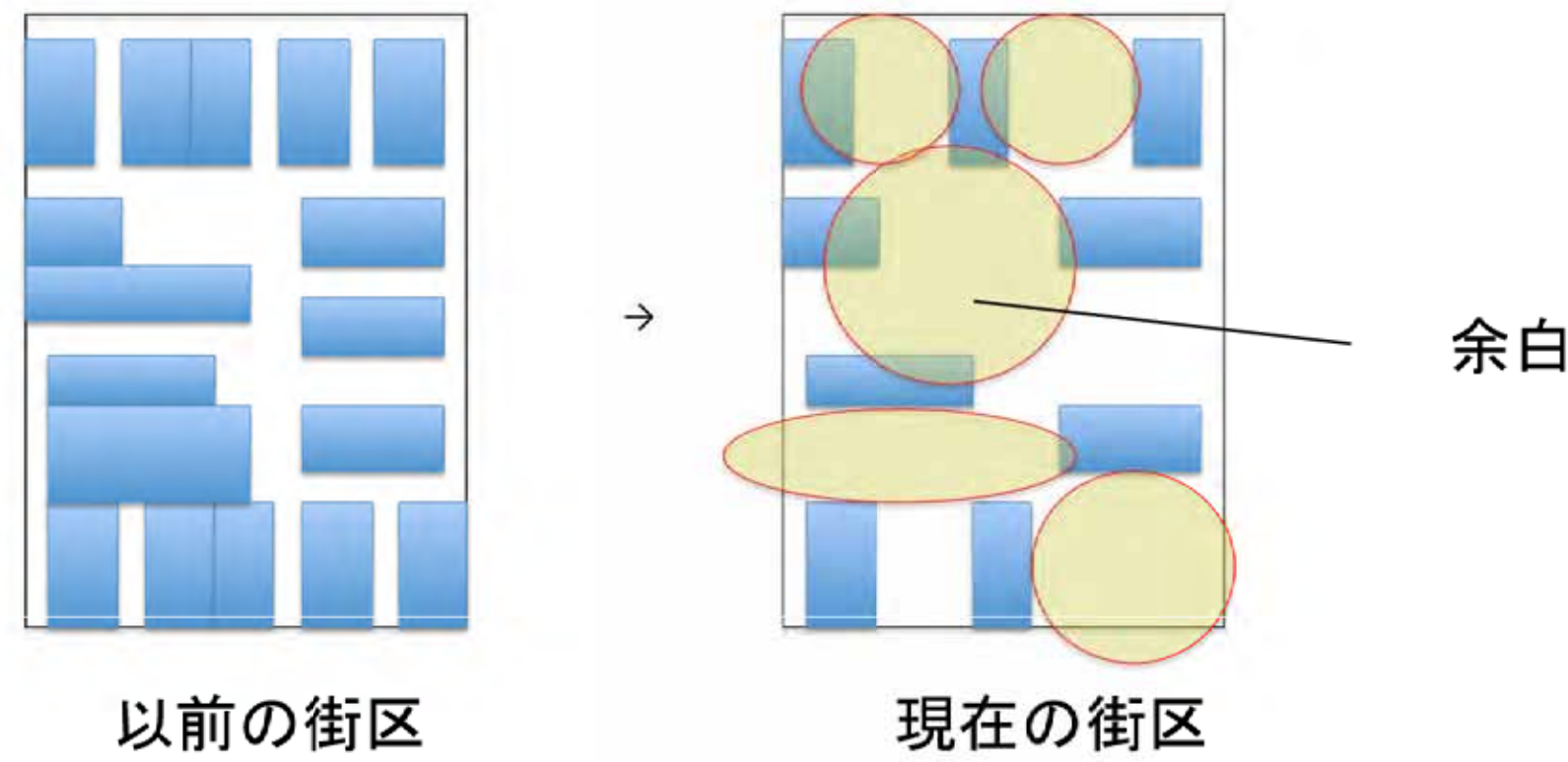


# 居住者・移住者の視点からの課題

- 『居住者の環境』・・・風、光、緑、水、街区内の余白空間の確保
- 『年齢層』・・・若者の引き込み
- 『背割り』・・・背割りの積極的活用
- 『空洞化』・・・駐車場の規模と配置の検討、空地の在り方と庭の使われ方

## 街区の現在

街区では駐車場が多く存在しており、それは空家の増加、建て壊しによるものと見られる。このような空地が街区の空洞化を顕著に表し、今後月日が経つにつれて空洞化が街区中に広がっていくことが推測できる。



詰めて住む必要のない現代では今後増えてくるであろうこのような空洞スペースに、移住を考えている人にとって魅力的で、かつ現在の居住者にとっても環境を損なわないようなまちなか居住の在り方を搜索していくことが必要だ。

建て替え更新時に現在の居住者の居住環境を損なわないように、単身もしくは2人組の若いアーティストを短期滞在型で呼び込む。



## 敷地の魅力

- 魅力1 管理はされてなさそうだが、豊富な緑がある！
- 魅力2 石で積まれた背割がある！
- 魅力3 ゆとりのある広さがある！
- 魅力4 大野城が見える！
- 魅力5 昔ながらの蔵がある！
- 魅力6 七間通りに接している！
- 魅力7 「学びの里めいりん」が近くにある！

まとめると・・・

『豊かな居住空間を確保するために利用できるポテンシャルの高い余白が多く存在する』  
『商業施設や人通りの多い通りに接していて、展示会等に活気をもたせることができる場所である』



↑ 平面スタディ

断面イメージ →

